

施策評価シート

【施策の概要】

登録者(課長)名【1】		危機管理室特命主幹 藤澤 正樹				
主管課(関係課)【2】		危機管理室(道路管理課)				
施策名【3】		分野【4】		まちづくりの方向性【5】		
安2-2 防犯・交通安全の推進		安全なまちづくりと暮らしのために		安全で快適に暮らすまちづくり		
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】		施策の目標【8】	
	安全で安心して暮らせる住みやすいまちであるためには、犯罪や交通事故などが少ないことも重要な要件です。 自治会・町内会が減少し、地域の安全を守る上での課題となっています。また、交通安全については、市内での交通事故発生件数、死傷者数はともに減少していますが、児童などが登下校時に交通事故に巻き込まれるケースもみられます。 今後は、地域の防犯や安全・安心を確保するために、地域をよく知る自治会・町内会などの地域コミュニティや防犯活動団体による防犯体制、市民、地域、学校、警察、行政が連携した情報連絡体制の整備の強化など、地域に密着した防犯・交通安全の取組が不可欠です。 また、社会問題化している振り込み詐欺などの被害防止については、関係部署や関係団体と連携した、全市的な被害防止対策の検討が必要です。		◆防犯活動団体への支援 ◆市民、学校、警察、行政が連携した防犯、交通安全への取組の強化 ◆振り込み詐欺などの対策		だれもが安心して暮らせる、安全なまちづくりを進めます。	
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】					
振り込み詐欺などの特殊詐欺について、田無警察署管内では近年多くの被害が発生し、その件数は警視庁管内でも上位に位置しており、市民生活をおびやかす厳しい状況にあります。						
事業群	事業群名【10】			事業群の施策上の位置づけ【11】		
	1	市民と連携して防犯体制の強化を図ります			防犯協会、防犯活動団体等との連携強化	
	2	市民と連携して交通安全の推進を図ります			交通安全にかかわる組織・団体・市民との連携強化	

【施策の成果】

				年度	24	25	26	27	28	29	
成果指標【12】	指標1	名称	「子どもの見守り活動など防犯・交通安全の推進」に対する満足度	目標値	25%			単位	%		
		算出式・説明	子どもたちが安心して暮らせる安全なまちづくりを進めるため、市が行っている「子どもの見守り活動など防犯・交通安全の推進」の取組に対する評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。	実績値	21.9	21.9	21.9	23.6	23.6	27.4	
				達成率	88%	88%	88%	94%	94%	110%	
	指標2	名称	刑法犯の発生件数（西東京市）	目標値	削減			単位	件		
		算出式・説明	地域の防犯対策の効果を知るうえで、刑法犯の発生件数の把握は重要です。このため、市民や関係機関と連携して防犯活動を強化し、刑法犯の発生件数を減らしていきます。（実績値は1月1日～12月31日のデータ）	実績値	2232	2012	2080	1930	1765		
				達成率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
	指標3	名称	交通事故発生件数（西東京市内）	目標値	削減			単位	件		
		算出式・説明	市民と連携した交通安全対策の効果を知るうえで、交通事故発生件数の把握は重要です。そのため、交通安全施設の整備や市民や関係機関と連携して交通安全の取組を強化し、交通事故発生件数を減らしていきます。（実績値は1月1日～12月31日のデータ）	実績値	650	513	473	440	466		
				達成率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
指標4	名称		目標値				単位				
	算出式・説明		実績値								
			達成率								
達成率の平均値					73%	0%	0%	0%	0%	0%	

【市民意見】 【13】

24年度		27年度		29年度	
満足度(%)	21.9%	満足度(%)	23.6%	満足度(%)	27.4%
満足度(平均ポイント)	-0.27	満足度(平均ポイント)	-0.19	満足度(平均ポイント)	-0.08
重要度(%)	84.8%	重要度(%)	83.8%	重要度(%)	81.7%
重要度(平均ポイント)	1.45	重要度(平均ポイント)	1.39	重要度(平均ポイント)	1.37

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	☐ まだ未達成 ☒ ほぼ達成 ☐ 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	☐ 平均を下回る ☒ ほぼ平均 ☐ 平均を上回る	
施策の成果と課題（取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等）【16】		◇市内における侵入窃盗や自動車盗など、全体的には減少傾向にありますが、性犯罪と特殊詐欺が増加傾向にあります。 ◇防犯対策として、他課及び警察との連携を行うとともに、防犯パトロール・防犯講話・防犯講演会の実施や、防犯活動団体への補助・リーダー連絡会等に取り組んでいます。また、緊急メール配信サービス(安全・安心いーなメール)により防犯意識啓発等実施しています。 ◇市内の交通事故発生件数については、平成24年度と比較すると減少傾向にあるものの、交通事故に起因する高齢者の死傷者数は増加傾向にあります。		
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	☐ 弱くなっている ☒ 以前と同程度 ☐ 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	☐ 平均を下回る ☐ ほぼ平均 ☒ 平均を上回る	
今後の方針（具体的な事業群や事務事業を示しながら）【19】		◇市内の防犯対策を推進するために、警察署や関係団体と連携しながら、自動通話録音機の配布や犯罪手口の実例周知を図るとともに、被害に遭わない、或いは被害に遭いそうになっている方を見かけたら警察に通報していただけるような地域づくりに努めていきます。 ◇防犯パトロール・防犯講話・防犯講演会の実施や、防犯活動団体への補助・リーダー連絡会等の防犯対策、緊急メール配信サービス(安全・安心いーなメール)による防犯意識啓発等は、犯罪の動向を踏まえ、取り組みを継続していきます。 ◇市内の交通安全施策を推進するためには、交通管理者である警察署との連携だけではなく、交通安全にかかわる組織や団体、また、市民の協力が重要であることから、今後、さらに交通安全に関する認識を深めて頂く取組を進めながら、更なる連携強化に努めていきます。		
総合評価	施策内容の方向性【20】	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	☐ 重点化 ☒ 現状維持 ☐ 効率化		
	施策実施方針【22】	V 成果を維持しつつ、コストも現状を維持する施策領域		

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	
--------	--

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 絞込み
	施策実施コストの方向性【21】	☐ 重点化 ☒ 現状維持 ☐ 効率化
	判断理由等【24】	防犯・交通安全の推進については、警察と連携し、防犯活動団体への支援や防犯パトロールの他、犯罪被害防止の啓発などに取り組んできました。 市民意識調査結果については、前回調査と比べ満足度・重要度ともに大きな変化は見られません。 市内では特殊詐欺や、交通事故に起因する高齢者の死傷者数が増加傾向にあることから、引き続き取組を進めていく必要があると判断しました。
	施策実施方針【22】	V 成果を維持しつつ、コストも現状を維持する施策領域

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	1安心安全なまちづくりの推進	危機管理室	だれもが安心して暮らすことができる犯罪のない安全なまちをつくるために、市民等の防犯意識の高揚とその自主的な活動を促進します。
	2交通安全・自転車教室の実施	道路管理課	交通の安全を確保するために、学校・家庭・地域と連携しながら、小学生を対象とした交通安全教室や高齢者向けの交通安全のつどいなどの啓発活動を推進し、市民の交通安全意識の向上を図ります。
	道路反射鏡、道路区画線等の設置	道路管理課	市道等の信号機のない十字路、T字路、カーブ等で、特に視認性の悪い箇所などに、道路反射鏡を設置するとともに、歩道が設けられていない道路等に路側帯等の標示を行っています。
事業の合計			

総コスト(千円) ：評価年度【28】			事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
	事業費	人件費				
14,114	8,298	5,816				
8,338	6,676	1,662				
15,662	12,338	3,324	継続実施 (平成20年)	中	道路反射鏡や道路区画線等の設置が、出会い頭の事故や狭あいな道路における事故の未然防止に寄与し、交通事故の減少につながります。	B
38,114	27,312	10,802				